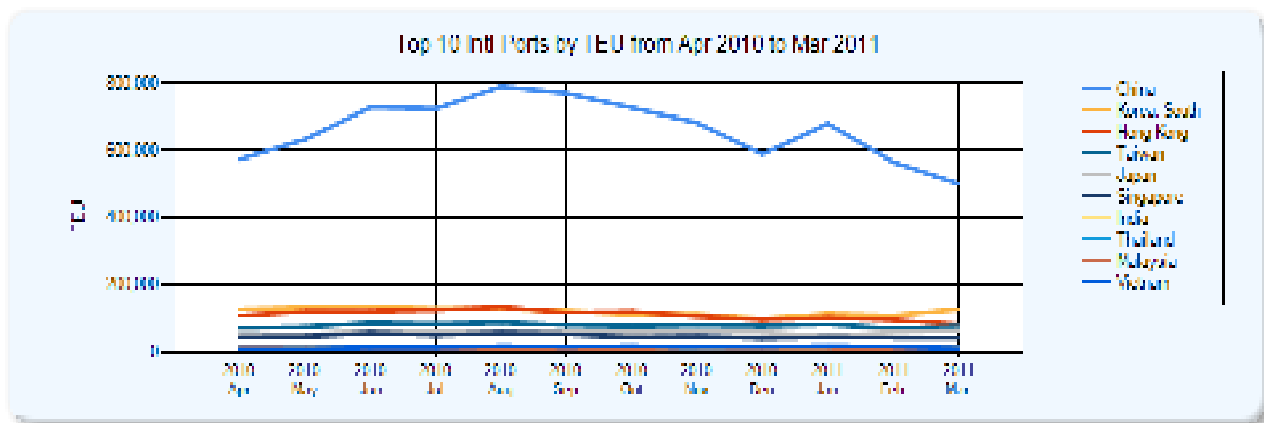


米国通関統計 3月輸入実績速報

ゼポ発表；アジア発米国向けコンテナ 3月は前月比 5.1%減、前年比でも 3.5%減

中国の前月比 11.4%減に対して、韓国は 17.3%増、日本も 8.7%増



Source; Zepol Corporation-TradeIQ*

Zepol (ゼポ) Corporation (本社・米国ミネアポリス www.zepol.com) は、4月12日、米国税関 AMS・B/L データを基に、米国海上輸入3月実績をまとめました。

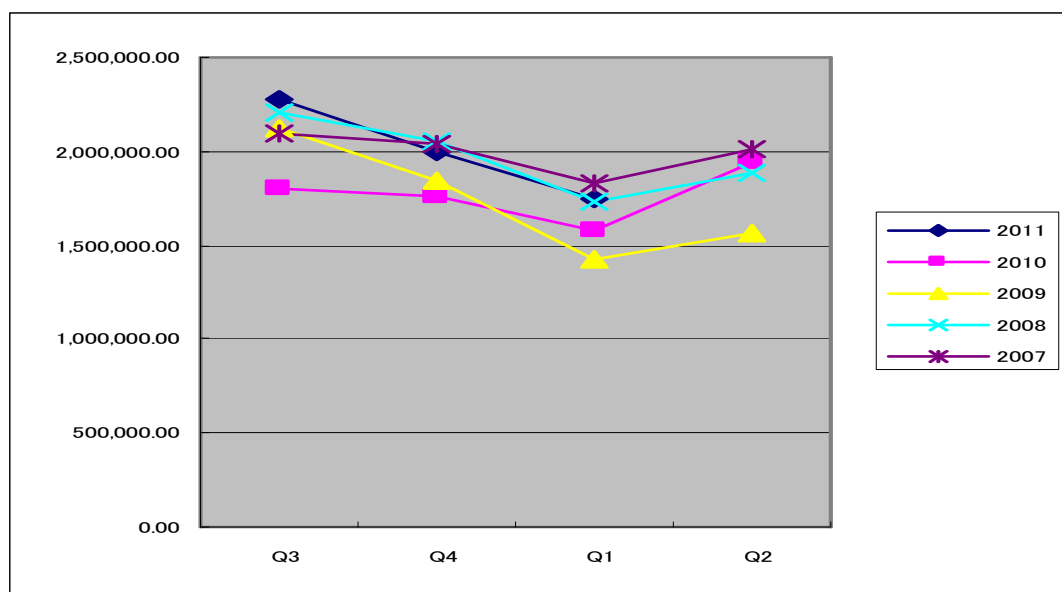
それによると、アジア主要10カ国発 (B/L・Loading Port・母船積地ベース TEU)は、5.1%のマイナスとなりと前年同期比でも 3.5%のマイナスとなりました。

(米国全体の3月輸入 TEU 実績は中南米からの増加が寄与して前月比+4.4%、前年比+1.2%と堅調)

これは中国、香港の減少 (それぞれ前月比 -11.4%, -15.1%) によるもので、日本、韓国は前月比でそれぞれ 8.3%, 17.3%と増加を示しました。(別表1参照)

日本実績には震災後の船積分も後半に含まれていますが、釜山T/S分も合わせて日本発は好調で、4月6日着まで直近10日間だけの集計・比較でも仙台港を除く日本9港の米国向けは前年比+22.5%と大幅増加となっています。(データ省略) 震災による影響については4月度以降の実績を待つて分析することが必要です。

中国の減少傾向については、過去4年間の四半期毎の傾向では、第一四半期が減少し、第二四半期で上昇するのが例年の実績となっています。(参考チャート参照)



Source; Zepol Corporation-TradeIQ*

台湾も前月比で+8.7%でしたが、シンガポールは-2.6%でした。
 下位グループの内、インドが前月から+40.9%だったのに対して、ベトナムの-37.3%となったのが目立ちますが、タイ、マレーシアはそれぞれ前月比、+4.9%、+8.5%と増加でした。(別表1参照)

別表1 アジア主要10カ国発 米国向け3月TEU (母船積地ベース)

USA Import from Asia Top 10 - March 2011			
Top 10 Countries Loading Port ベース	March 2011 (TEU)	前月比 (%)	前年同月比 (%)
1. China	501,024	-11.4	-1.7
2. Korea	127,218	17.3	-2.2
3. Hong Kong	81,725	-15.1	-20.4
4. Taiwan	76,120	8.7	9.6
5. Japan	65,434	8.3	-3.5
6. Singapore	43,510	-2.6	-20.6
7. India	14,192	40.9	4.1
8. Thailand	13,237	4.9	0.5
9. Malaysia	10,809	8.5	5.6
10. Vietnam	10,775	-37.3	55.3
Asia Top 10 Total	944,044	-5.1	-3.5

Source; Zepol Corporation-TradeIQ*

釜山港は自国分の 23.1%の伸びに加えて、中国全体がマイナスの中でも華北からの TS 分は 9%の増加で、日本発合計も先月につづいて 15.%の増加 (別表 2 参照) ,特に博多、神戸、大阪はそれぞれ 13.3%, 23.6%, 34.4%の増加でした。

別表 2 釜山港 T/S 3月 国別 TEU と前月比

Place Receipt 荷受地ベース	March 2011 TEU (Share %)	前月比 (%)
1. Korea (自国分)	65,429 (56.7)	23.1
2. China	36,761 (31.9)	9.0
3. Japan	5,328 (4.6)	15.0
4. Vietnam	1,501 (1.3)	-8.2
5. Indonesia	1,395 (1.2)	-41.6
Top 5 Total	(95.7)	
Pusan Total	117,034 (100)	15.5
Korea Total	127,218	17.3

Source; Zepol Corporation-TradeIQ*

?? Zepol (ゼポ) TradeIQ とは ???

- * Zepol TradeIQ は、米国税関から公表される AMS (Automated Manifest System) B/L 記載データを Zepol (ゼポ) が独自開発した検索エンジンによりデータベース化した米国貿易統計データです。
- * 毎日数万件に及ぶ全米各港からの B/L 情報が 2003 年以来、既に 9 千万件蓄積されており、そのゼポのデータベースに各自のパソコンから簡単にアクセスし、検索・作表・ダウンロードが可能で、IT のパワーをフルに活用した速報性の高い分析ツールの役割を果たしています。
- * PC 画面上で B/L #, Shipper, Consignee, Ports, Carrier, Products, Weight, TEU などの個別 B/L 記載内容のマトリックス分析が可能になっています。
- * 又、Container Type, LCL/FCL, Empty/Loaded, FROB 貨物、などの区分も可能で目的に応じた分析が出来ます。
- * 毎月、約 40 日後に発表される商務省統計に先立ち、前月の米国輸入動向が翌月の上旬には把握できる「一番早く公表される米国貿易統計」です。
(ただし、公式データである AMS 記載内容を忠実にそのままデータベース化し、TEU もそれに基づいて一部推計していますが、もしも AMS 記録内容に誤りとかダブルカウントなどがあれば、その通り含まれる可能性はあります)

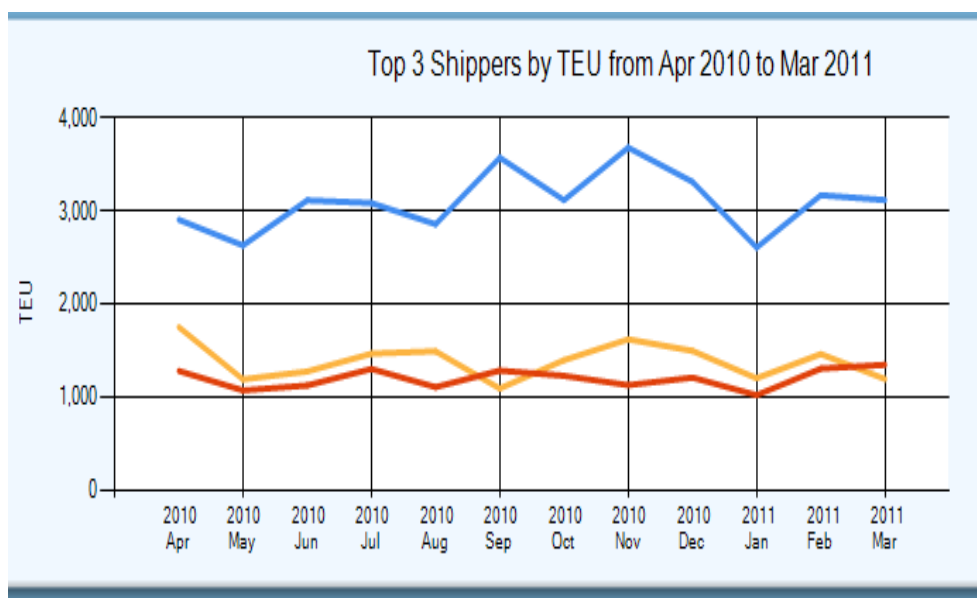
* 統計情報としての**公的な価値**に加えて、米国情報公開法により入手可能となっている**個別 B/L 記載データ**は**希少価値の高いファクト情報源**です。

ゼポのクライアント企業、ポートオーソリティなどを含む公的機関に於いては、例えば国別、港別のトレンド分析から、すぐに同じ PC 画面上で荷主、相手港、輸入先、船社/NVOCC、品目・数量など**アクチュアル情報への掘り下げ**を行いアクションに結び付けています。

統計分析ツールであると同時に**市場競争の為のツール**として活用されています。

(www.zepol.com)

参考チャート；主要輸出企業 3 社の TEU トレンド



Source; Zepol Corporation-TradeIQ*

本リリースの内容と Zepol (ゼポ) に関するお問い合わせ先：

日本：Zepol Japan mnanseki@zepol.jp